

# 優勝 あっぱれ 拍手!

頑張った人達を紹介し、応援するコーナーです。

## 小学校

- 全日本学童千葉県大会香取郡市予選大会(野球)  
優勝 多古ジュニアキッド
- 2位 十余三ジュニアスターズ
- 3位 多古リトルジャイアンツ
- 全日本学童千葉県大会北総地区予選大会(野球)  
3位 多古ジュニアキッド
- 関東学童千葉県大会香取郡市予選大会(野球)  
優勝 多古リトルジャイアンツ

## 中学校

- 北総中学校選抜野球大会  
優勝 多古中野球部

## 心を込めて栗山川を清掃

栗山川で遊覧船の運航を行っている「かもちんの会」が3月14日、飯土井橋周辺の栗山川で清掃活動を実施しました。

船に乗り込み、橋脚や付近の川底にたまったごみを丁寧にすくい上げた会員の皆さん。河川敷のごみ拾いも行うなど、菜の花やアジサイの季節を前に、心を込めて清掃活動に取り組んでくれました。



## 早春の鎌倉・江ノ島を満喫『健康ウォーキング教室』

2月21日と3月13日の2日間、町主催による『健康ウォーキング教室』が開催されました。毎回参加者が抽選となるほど人気の高いこの教室。今回のコースは鎌倉・江ノ島方面です。

親子4人で参加したご家族は「初めて家族で参加しました。海からの風がとても気持ち良く、楽しみながら歩くことができました。次回もぜひ参加したいです」と笑顔で話してくれました。



## 広げよう“社会福祉”の輪!



3月6日、コミュニティプラザ文化ホールにおいて『多古町社会福祉大会』が開催され、492人が参加しました。大会では、多年にわたり地域福祉の発展に貢献された10人・2団体に対して表彰状や感謝状が贈られた後、4人の中高生による作文・意見発表や多古中学校プラスバンド部の演奏、元ニッポン放送アナウンサー・高嶋秀武さんによる『ゆとり・ユーモア・快適人生』と題した記念講演が行われました。

## ホールを包む美しい歌声♪

3月13日、コミュニティプラザ文化ホールを会場に、町文化協会コーラス部主催による『スプリングコンサート』が開催されました。

7回目を迎える今年は、町の合唱サークル「木曜コーラス」と「土曜コーラス」の皆さんが息の合った歌声を披露。ゲストの方々による独唱や優雅なピアノの演奏もあって、会場は終始美しい音色に包まれました。



## 全国大会に出場しました!!

### ★全国高等学校ゴルフ選手権春季大会出場★



多古高校・伊藤 翼さん(御料地)  
2度目の全国大会出場を果たした伊藤さん。当日は天候が悪く、ミスが多く出てしまったとのこと。「今回の大会でこれからの練習課題が見えました。今年はこれまで出場できなかった大会にも出場し、結果を残したい」と力強く語ってくれました。

### ★全国高等学校弓道選抜大会出場★



匝瑳高校・木川 寿真さん(堂谷)  
初めての全国大会でしたが、「自分の力を出し切りたい」という気持ちで大会に臨んだ木川さん。「結果は9位。やれることは全部やったので、悔いはありません。6月の予選を勝ち抜き、また全国大会に出場したい」と次の目標に意欲を燃やしていました。

町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。  
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。  
〒289-2292  
多古町役場総務課広報係 ☎76-2611



## 思い出に残る楽しい給食!

2月中旬から3月にかけて、学校給食センターではバラエティーに富んだ給食を実施しました。

卒業を控えた多古中3年生からの要望による『リクエスト給食』ではアイスクリーム、オレンジジュース、焼きプリンタルトが登場。このほか幼稚園と小中学校の卒業生に向けた『卒業おめでとう給食』や、小学6年生を対象とした『バイキング給食』など、楽しいメニューが盛りだくさん。

3月12日には中村小6年生が『バイキング給食』を堪能しました。当日は学校給食センターの安田栄養士も小学校を訪問。通常のメニューに加え、エビフライやポテトフライ、焼きおにぎり、卵焼き、杏仁豆腐が用意されると、児童たちのお皿は、あっという間に山盛りになってしまいました。

児童たちからは「おいしい給食をたくさん食べることができて、とてもうれしかった」「おなかいっぱいになりました。もうこれ以上は食べられません」といった声が聞かれ、卒業を前に思い出に残る給食となった様子でした。



■卒業を前に「バイキング給食」を楽しむ中村小6年生

## 母校の児童たちにエール!!

3月3日、陸上競技女子三段跳びで日本選手権5連覇中の吉田文代さん【成田国際空港(株)】が、母校の多古第一小学校で講演を行いました。これは、多古第一小PTAの部会「父親活動部」の働き掛けにより、「6年生を送る会」のスペシャルイベントとして実現したものです。

「小学生のころは元気でやんちゃだった」という吉田さん。手拍子に合わせて三段跳びを披露すると、児童たちからは歓声やどよめきがあがり起きました。そして、当時の思い出や現在のアスリートとしての体験談を話した後、「頑張れば何でもできる」と児童たちにエールを送りました。

最後には日本選手権で獲得した6つの金メダルを児童に手渡し、メダルの重さを感じてもらおうという驚きのプレゼント。メダルを手にした児童たちは目を輝かせながら、首に下げたりするなどして喜んでいました。

